

しひきだ  
(農)四疋田営農組合(三重県多気町)



地域活性化のために、集落とともに歩む特定  
農業法人



経営概要

【経営概要】 水稻27.3ha、小麦11ha、大豆11ha、伊勢芋0.2ha

【経営の発展経緯】

平成6年のほ場整備事業を契機に任意の営農組合として水稻及び小麦の作業受託を開始。営農組合として機械を保有し、地区内の認定農業者もオペレーターとして参加する中で作業受託面積を拡大。平成17年1月に法人化、同年8月に特定農業法人となり、また自らも認定農業者として地域の中心的な担い手となる。この結果、現在、水稻＋小麦＋大豆の2年3作体系を確立し、49.5haの経営を実現。

【経営の特徴】

- ・ 地区内全戸が参加し、地区内農地を100%集積。
- ・ 伊勢芋(伝統野菜)生産及び農商工連携による酒米生産により地域を活性化。
- ・ エコファーマーの認定を受け化学肥料・化学合成農薬の5割減に取り組むなど環境に配慮した農業を実践。
- ・ 町内他地域の法人研修会での講師を引き受けるなど、法人化の支援を実践。

【今後の経営目標】

- ・ 環境に配慮した農業の取組みを通じて、米の品質向上及びブランド化を図るとともに直販を拡大。
- ・ 地域の高齢者の技術及び労働力を活用し、伝統野菜である伊勢芋の栽培技術の伝承と産地の維持発展を図り、地域を活性化。